

## 福島県立あさか開成高等学校

### サステイナブルスピリット

～持続可能な開発目標(SDGs)から考えるあさか開成高校の取り組み～

「SDGs」の貧困、ジェンダー、水、不平等、平和と公正、パートナーシップについて学んでいる。水と共に活動では、猪苗代湖の清掃活動や浄水場見学などにも参加した。今後も豊かな未来創造の足掛かりとなるべく、より多くの活動を通して福島の復興・再生に携わっていきたい。



## 福島県立相馬農業高等学校

### 農業クラブ

#### 南そうまハマナスProject

ふくしまレッドリスト絶滅危惧IB類の「ハマナス」に着目。地域の活性化とハマナス香る故郷を目指したハマナスProjectに取り組む。植樹会、花見・観察会、放課後子ども教室や自然体験塾を開催。製品化までたどり着いた「ハマナスジャム」は、地域交流イベントで販売している。



## 福島県立原町高等学校

### 数科学部

#### グリーンカーテンの断熱と紫外線カットの効果についての研究

グリーンカーテンとすぐれた断熱効果の比較、遮光効果の有効性、植物の違い(アサガオ、キュウリ、ゴーヤ)による温度上昇の差、紫外線カットの効果の実験を行った。結果、植物の葉は人工物と比べ遜色ない遮光があり、紫外線の値はゴーヤの遮断能力がすぐれよりも優れていた。

関 東  
23団体



関東地区は、

環境省地方環境事務所の所管する

都道府県別で区分しています。

(関東地区 = 茨城、栃木、群馬、千葉、埼玉、東京、  
神奈川、新潟、山梨、静岡)

## 茨城県立竹園高等学校

### JRC部

#### 宍塙の谷津田における古代米プロジェクト

霞ヶ浦周辺の環境保全を目的として、土浦市宍塙大池周辺の谷津田を開墾し、無農薬肥料の自然農法による古代米づくりを始めた。現在、谷津田は耕作放棄が増え、本校近くの谷津田を再生する「古代米プロジェクト」により豊かな生態系の回復に取り組んでいる。



## 栃木県立那須拓陽高等学校

### 大山農場プロジェクト

#### 「オシャラクブナの里」創造計画

絶滅寸前の「ミヤコタナゴ」。栃木県那須地区で生物多様性の保全を図る活動を進め、「オシャラクブナ(ミヤコタナゴの方言)の里」としてブランド化し、地元のJAなどと協力しながら農業所得の向上を目指す。ミヤコタナゴが生息できる環境を作るまでの課程を本校から発信していく。



## 栃木県立栃木農業高等学校

### 農業土木科プロジェクト班

#### 土のうプロジェクト～千里の道も一袋から～

身近な林道である環境省所管「関東ふれあいの道」の被災箇所の修復工事を地域住民と一緒に行っている。災害発生土を除去し、その土を使って土のうを作成。施工の際は、小中学生や地域住民への「ESD活動」にも取り組み、今年度は1000人以上を巻き込んで活動した。



## 群馬県立尾瀬高等学校

### 理科部

#### 尾瀬ニホンジカ調査～自然との共生を考える～

尾瀬ヶ原に本来生息していなかったはずのニホンジカの増減や気象条件の影響を15年間調べている。また尾瀬の現状やシカのことについて学校外の研究発表会や学会などで発信している。今後も、すばらしい尾瀬の自然を守り、自然(野生動物)と人の共生を図っていく。



## 群馬県立利根実業高等学校①

### 生物資源研究部

#### イノシシの色覚を利用した侵入防護研究と普及活動

野生動物から農業被害を防ぐことを目的に、イノシシの侵入防護対策の研究を行っている。農業廃材の青色園芸ポットなどを利用した侵入防護柵(青ポット柵)を設置した。圃場での侵入被害をもたらす成獣は実験開始から平成30年10月現在、2年9ヶ月間侵入していない。



## 群馬県立利根実業高等学校②

### 生物資源研究部

#### 赤城山におけるニホンジカの生態・行動調査

ニホンジカの「踏み荒らし」被害、林業被害、湿原の希少植物の食害などが深刻な問題。農林業被害の縮小と希少植物の保護を目的に行政機関と連携し、ワイルドライフ・マネジメントに基づくニホンジカの生態・行動調査、研究、情報発信を行っている。

